

「なぎさ海道」アマモ場再生プロジェクト

「なぎさ海道」はアマモ海道

「なぎさ」は多様な生物が生息する自然豊かな波打ち際を、「海道」は人、モノ、情報が行き交い賑わう海岸に沿った道や地域を意味し、「なぎさ海道」はこのふたつの意味を重ね、人と海とが豊かに触れ合う海辺空間の象徴であり、目指すべき沿岸域の姿です。「なぎさ海道」は図-1に示す大阪湾ベイエリアの播磨灘、大阪湾、紀伊水道の沿岸域を対象としています。

ここで、アマモ種子は波、流れにより現存するアマモ場の外に出て、新たなアマモ場を形成する役割があります。「なぎさ海道」の流れ(恒流)をみると、播磨灘では西から東への流れ、大阪湾では時計回りの環流に沿う沿岸部の流れ、紀伊水道では黒潮による沿岸部の流れがあります。そこで、「なぎさ海道」沿いに拠点となるアマモ場を造成できれば、沿岸部の流れに乗ってアマモ種子が各地に供給され、アマモ自身の生命力を活かして「なぎさ海道」のアマモ場再生が出来ます。このことから「なぎさ海道」はアマモ海道とも言えます。



図-1 「なぎさ海道」

具体的な活動

播磨灘、大阪湾として紀伊水道を結ぶ「なぎさ海道」沿岸部に沿って子ども達の環境体験学習や地域住民の市民活動として拠点となるアマモ場を造成すべく活動しています。

図-1に示す活動拠点地域で、地元の小学校、市民活動団体と協働してアマモ種子を採取し、この種子を用いて小学生等の環境学習の一環として播種シートを作成してもらったり、栽培用キット(アマモ種子、砂、栽培用ポット、人工海水の素)により移植用のアマモ苗を育成してもらい、これらをボランティアダイバーの手で実海域に敷設、移植しています。



写真-1 アマモ種子の採取



写真-2 播種シートの作成



写真-3 アマモ苗の作成

◆各年度の実施計画

月	活動内容
5~6	田辺市、赤穂市、姫路市、明石市のアマモ場で地元市民活動団体および小学校の児童とアマモ種子の採取
5~8	明石市江井ヶ島海岸壁に設置した海水循環水槽でアマモ種子の養生および選別
8~11	上記で選別、集積した種子を当NPO事務所の恒温高湿箱(設定温度4℃)で保存
10~11	各地でアマモ育苗キット、アマモ播種シートによる「アマモの種まき会」を開催
2~3	アマモ育苗キットで生育したアマモ苗の移植会を各地で開催
3	海際に設置したアマモ播種シートでのアマモの生育状況を追跡調査

◆各地の協働パートナー

地区名	協働パートナー
赤穂市	NPO法人海っ子倶楽部、御崎小学校、赤穂市漁協
相生市	相生湾自然再生学習会、御崎および相生小学校
姫路市	NPO法人姫路こころの事業部、ダイビングスクール「ハリス」、ヒューマンアクティビティ、白浜小学校、姫路市漁協
明石市	江井ヶ島漁協、ダイビングスクール「ハリス」
泉南地域	5漁協(北中漁、泉佐野、田尻、岡田漁、梅井)、東洋建設株、田尻小学校、NPO法人環境教育技術振興会
田辺市	田辺湾におけるアマモ場造成事業ネットワーク(和歌山県水産振興課、田辺市水産課、新庄漁協、NPO法人内之浦湾を良くする会ほか)

今後の展望

現在は本州沿岸部に沿った線での繋がりで一部の海域に限られているが、この線上での地点を増やす(大阪市、貝塚市、和歌山市)、また線の延長(岡山市、笠岡市)を検討する。また、洲本市など淡路島東海岸と連携し、線を面に拡げることも視野に入れている。

瀬戸内海~大阪湾~紀伊水道の海域では地元の海域環境を保全し、より美しい自然環境を育みたいと努力されている市民活動団体は多くあり、これら諸団体との交流・連携を深めることで当プロジェクトの拡大に努めていきます。

◆活動の拡大のためにはアマモ種子融通ネットワーク構想の実現を!



「なぎさ海道」は大阪湾ベイエリアにとどまらず日本全国の沿岸域に拡がるものであり、全国各地の多くの方がアマモ場再生のために活動されています。これらの活動を継続、拡大して行くにはアマモ種子の多様性を念頭においた種子の確保が最優先課題です。

活動を開始したい全国の方から種子の融通を依頼されますが、これらの地域に適応する種子が当NPOにあるとは限らず、みなさんの熱意にもかかわらず活動を断念する事例が多くあります。

できれば各都道府県の水産試験場が現存するアマモ場の種子を市民活動団体と協働して採取・保存されるのが最善ではありますが、現時点ではそこまで行ってません。そこで、アマモ種子を採取・保存している機関・団体がネットワークを組み、相互に情報交換し、アマモ種子を融通しあえることができればと思います。

どの機関・団体が、どの海域でアマモ種子を採取し、保存していくかを確認し、アマモ場を再生したいとする機関・団体にいつでも融通できるようにしたいものです。

最後に

本プロジェクトはこれまで(財)大阪湾ベイエリア開発推進機構、(株)ラッシュジャパン、大成建設(株)、(財)イオン環境財団、セブン-イレブンみどりの基金、グリーン家電・エコ住宅のエコポイントによる環境高附ほか多くの団体から助成を受けて行っています。ここに謝意を表します。

特定非営利活動法人アマモ種子バンク

(連絡先) 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1-1-8、TEL 0798-42-3884、FAX 0798-42-3884

(E-mail) amamobank@sweet.ocn.ne.jp

(ホームページ) <http://www10.ocn.ne.jp/~amamobk/>

